

水稲乾田直播栽培「作業実演・実地」勉強会
～乾直に本気で取り組む方々の指導強化に向けた勉強会～
開催要領

1. 趣 旨

近年、東北地域においては、水稲の省力化・低コスト化技術として乾田直播栽培の普及が急速に拡大している一方、乾田直播栽培の基本的かつ重要な技術である「播種床づくり」が十分に行われず出芽不良や出芽遅れなどを招いている事例が多く見られるようになってきました。水稲移植栽培では「苗半作」と言われるように、乾田直播栽培では「播種床づくり」半作とも言われ、これが上手く行かない要因として、従来拡大してきた畑作物の作業体系に慣れた生産者（プラウ、スタブルカルチ、パワーハロー等を用いた作業）による拡大から、水稲の代かき・移植体系に慣れた生産者（ロータリ体系を中心とした作業）の方々に広がりつつあることが挙げられます。

こうした乾田直播の新しいフェーズに対応した最適な「播種床づくり」の重要性や具体的な機械作業について理解していただくためには、これまでの座学では限界があるため、今回新たに「播種床づくり」「播種作業」等を中心とした機械実演と研究員による解説、参加者による実際の圃場の仕上がり状況の確認等を行って理解を深めるための作業実演・実地勉強会を開催することとしました。

なお、今回の実地勉強会については、講師も兼ねて乾田直播の機械作業の基本を再確認していただくため農機メーカーの方々を中心に、これから本気で乾田直播の指導・普及に取り組もうとするJAや各県の普及職員、農薬メーカーの方々を対象とし、乾田直播に初めて取り組む生産者や経験の浅い生産者を指導するための内容を学びます。

- 2. 共 催** 農研機構東北農業研究センター
水稲乾田直播ネットワーク（7月設立予定、事務局東北農業研究センター）
水稲直播および子実トウモロコシ普及促進会
- 3. 協 力** (株)みちのくクボタ、ヤンマーアグリジャパン東北支社（岩手ブロック）、
スガノ農機(株)東北支店、ニプロ松山(株)東北営業所
- 4. 開催日時** 令和8年7月28日（火）9:00 ～ 16:45
7月29日（水）9:00 ～ 14:30（※午後は希望者のみ）
（雨天等の場合は、8月4日（火）～8月5日（水）に順延）
- 5. 開催場所** 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
農研機構東北農業研究センター 所内圃場（B7-1 圃場）
（オンライン配信なし）

6. 内 容 圃場選定から始まり圃場準備～入水期までの作業の考え方と実演
～排水対策、播種床造成、播種（キャリブレーションや播種量の意義、グ
レーンドリルとスリップローラーシーダー）、播種後鎮圧、除草剤散布の考
え方、フラッシング等について～

7. 参集範囲

主要な農機メーカーおよび農薬メーカー、東北各県の普及職員およびＪＡ等営農指導関係者、農研機構東北農業研究センター、その他主催者が認めた者

但し、東北地域での乾田直播栽培の普及拡大に向けた情報共有等を行う「水稻乾田直播ネットワーク（事務局：東北農業研究センター、本年７月設立予定 <https://www.naro.go.jp/laboratory/tarc/contents/network/index.html>）」に加入される組織・団体等の職員を優先させていただきますので、上記ホームページより加入申込をお願いいたします。

8. 定 員 80 名 （定員に達し次第締め切ります。なお、申し込まれた組織、団体等で
多人数の申し込みをされた場合は、人数を調整させていただく場合
がありますので、ご了承ください。）

9. 参 加 費 無料

10. 申込方法

別紙「参加申込書」にご記入の上、11.の連絡先（事務局）に電子メールまたはFAXで7月24日（金）までに提出ください。勉強会の延期、中止等の緊急的な連絡を要するため、メールアドレスおよび電話番号については、必ず記入願います。

11. 連絡先（事務局）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4
農研機構東北農業研究センター 研究推進部事業化推進室
農業技術コミュニケーター 高橋 渉
電話：019-643-3498、FAX：019-641-7794
電子メール：sh-jigyoka@naro.go.jp

12. その他

（1）当日の服装や持ち物について

当日は非常に暑いことが予想され1時間に1度は休憩を取るよう努めますが、終日、圃場での研修となるため各自十分な熱中症、日焼け対策をよろしくお願いいたします。

○服装：圃場で実地研修できる服（作業着等）、帽子、長靴、準備できる方は熱中症対策グッズ（空調服や冷却ベストなど）

○持ち物：播種した種子を掘り出す道具（ヘラ、定規など）、定規（播種深を確認するもの）、

電卓（キャリブレーションの計算用、スマートホンの電卓機能でも構わない）、ペットボトル飲料（水分補給用の水など）

（２）事前・当日勉強用の資料および参考アプリ

当日は下記の手順書やアプリを前提に話を進めていきますので必要に応じて、ご準備ください。

① 資料

農研機構の標準作業手順書（SOP）「乾田直播栽培体系標準作業手順書—プラウ耕鎮圧体系—「東北地方版」」のダウンロードまたは印刷：当日は基本的に本書の内容を中心に取り組みます。

② アプリ

- ・e 土壌図Ⅱ（web 版：農研機構日本土壌インベントリー）
- ・ノビエ葉齢判定アプリ（Google Play からダウンロードできます）
- ・LINE 公式アカウント日産化学「乾田直播出芽予測」（インターネットで「日産化学 出芽」と検索するとダウンロード用の QR コードが出てきます）

（３）昼食、休憩、荷物置場として、研究 H 棟 2 階大会議室、A 棟 3 階大会議室を準備します。但し、盗難防止等のため貴重品は置かないでください。

（４）公共交通機関で来られる方には、圃場まで東北研で準備した車で移動していただきます。集合場所、集合時間については別途連絡いたします。

水稲乾田直播栽培「作業実演・実地」勉強会 日程表

※日程は変更する場合があります。

令和8年7月28日（火）

場 所	時 間	内 容	備考 (実演圃 場 NO. 等)
東北農業研究 センター内 圃場B7-1	8:30～ 9:00	受付（テント内）	
	9:00～ 9:10	主催者あいさつ	
	9:20 9:20～9:50	勉強会開始 ・ 乾田直播で使う機械の説明	機械展 示場所
	9:50～10:00	休憩	
	10:00～10:50	・ 乾直栽培の導入条件（圃場選定）について （土壌条件、ほ場区画、排水対策など） ・ 乾田直播の基本作業体系（機械・作業の説明） サブソイラ、プラウ	2-2 3-1
	10:50～11:10	トイレ休憩	
	11:10～11:50	・ 乾田直播の基本作業体系（作業と説明） バーチカル、レベラー、播種、鎮圧等	3-2 3-3 3-4
H 棟大会議室 または A 棟大会議室	11:50～13:15	昼食・休憩	昼食は 各自で
センター内 圃場B7-1	13:15～14:05	・ 硬い播種床造成と播種（作業と説明） 硬い播種床づくりの方法（バーチカル、ケンプ リッジローラー）と播種	4-1 4-2 4-3 4-4 4-5
	14:05～14:15	休憩	
	14:15～15:10	・ 播種機の説明と播種量の調整方法等 ガスパルド、マスカーなど	
	15:10～15:30	トイレ休憩	
	15:30～16:30	・ 硬い播種床の造成方法（作業と説明） ロータリの場合の床づくり・播種	6-1 6-2 6-3
	16:30～16:45	・ 質疑応答	
	16:45	7月28日分終了	

※日程は変更する場合があります。

令和8年7月29日(水)

場 所	時 間	内 容	備 考 (実演圃 場 NO. 等)
センター内 圃場 B 7-1	9:00～ 9:40	・ 硬い播種床の造成方法（機械調整方法と実演） （表土が固い場合と柔らかい場合のバーチカルハ ローの調整方法と作業）	7-1 7-2
	9:40～10:00	・ 播種機の違いによる仕上がりの状況（作業と説 明） （グレーンドリル、スリップローラーシーダー）	7-3 10-1
	10:00～10:10	休憩	
	10:10～10:20	・ スリップローラーシーダー播種後の鎮圧 （鎮圧の有無による違い）	8-1
	10:20～10:40	・ ロータリーシーダによる播種状況 （直装ケンブリッジローラによる鎮圧）	8-2
	10:40～10:50	・ ロータリーシーダ播種後の鎮圧 （鎮圧の有無による違い）	8-3
	10:50～11:10	トイレ休憩	
	11:10～11:50	・ 乾田期 1 回目雑草防除の重要性 （積算気温、アプリ利用等による防除） ・ フラッシング・入水時期等	9-1
H 棟大会議室 または A 棟大会議室	11:50～13:15	昼食・休憩	昼食は 各自で
※以下は、希望者のみのオプション見学			
センター内 大規模圃場	13:15～14:30	・ 大区画緩傾斜圃場の説明 ・ 乾田直播水稻の生育状況	
	14:30	勉強会終了	

(参考) 7月28日(火)～29日(水) 勉強会実施会場 案内図



(会場拡大図)

